

デュポン™  
**ベリマーク® SC**  
 (VERIMARK SC)

登録番号 第23556号  
 種類名 シアントラニプロール水和剤  
 cyantraniliprole  
 性状 類白色水和性粘稠懸濁液体  
 有効年限 3年

有効成分 シアントラニプロール 18.7%  
 毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)  
 包装 (100mℓ×10本)×6箱

### ■特 長

1. ハスモンヨトウ、オオタバコガ、コナガ等のチョウ目害虫および、コナジラミ、アブラムシ、ネギアザミウマ、ナモグリバエ等の広範囲な害虫に卓効を示します。
2. 灌注処理すると薬剤は根から吸収されて作物の導管を通して地上部に移行し、処理後3～4週間の残効を示します。
3. 灌注処理に適した製剤となっているため適用作物に対して高い安全性が確認されています。
4. 天敵、訪花昆虫への安全性が高く、IPM プログラムに組み込むことが可能です。
5. ユニークな作用機作により、既存の薬剤抵抗性害虫にも高い効果を示します。

### ■適用害虫名及び使用方法

(2017年11月8日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	使用方法
キャベツ	ハスモンヨトウ アザミウマ類 ヨトウムシ ネキリムシ類 ウワバ類	400	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	育苗期後半 ～定植当日	1回	4回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内〕	灌注
	アブラムシ類 コナガ、アオムシ ハイマダラノメイガ						
はくさい	ハスモンヨトウ カブラハバチ						
カリフラワー	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ						
ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類						
レタス	オオタバコガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ						
非結球レタス	アブラムシ類 ヒメフタテンヨコバイ						
ねぎ	シロイチモジヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2,000	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	収穫7日 前まで	1回	4回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内〕	株元灌注
	ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ	4,000				
いちご	ハスモンヨトウ アブラムシ類	1,000	50mℓ/株	育苗期後半 ～定植当日	1回	4回以内 〔灌注は1回 以内、散布は 3回以内〕	灌注

殺 虫 剤 デュポンベリマークSC

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量				
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類	400株当り 25mℓ	400株当り 10～20ℓ (1株当り 25～50mℓ)	育苗期後半 ～定植当日	1回	4回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内〕	灌注
ピーマン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類						
きゅうり	ハモグリバエ類						
なす	ネキリムシ類 ハモグリバエ類						
	アザミウマ類 コナジラミ類 アブラムシ類						
メロン すいか							

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用前によく振ってから使用してください。
2. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
3. 薬液調製後はできるだけ速やかに使用してください。
4. アルカリ性の農薬や肥料との混用はさけてください。
5. 過度の連用をさげ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
6. 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
7. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
8. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないに注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

9. 誤飲などのないよう注意してください。
10. 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。

**水産動植物への影響：**水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。処理器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管：**密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。